

The Munich Perspective/A summary of the 1998 urban development strategy より
訳:株式会社 都市構造研究センター / 南部繁樹、中澤容子

都市の将来はそこに住む全ての人々に影響するものである。

市民の多くは、都市の発展や、経済的、社会的、空間的、地域的発展の目標、そしてそれらがどのように達成されていくのか高い関心を持っている。

そこで『ミュンヘンの展望』では、市民との成果ある話合いの場を築くことが重要であるとし、PlanTreff (プラントレフ) に於いて包括的な情報公開を行っている。

1. 「PlanTreff」は、都市づくりに関する情報センターである。都市計画・建築法規局 (Department of Urban Planning and Building Regulations) により設立され、1995年5月にミュンヘン市役所内 (都市計画局庁舎) の1階にオープンした。ここでは都市発展計画が公開されている。
2. 「PlanTreff」は、学校、専門家プランナーなどの組織団体、全ての市民を対象に、着実に来客の流れを増やすための活動を行っている。
3. 「PlanTreff」は、議論やワークショップ、記者会見などにも人気の会場として利用され、様々なメディア用設備も整っている。ここには都市発展に関する資料が多く集められており、営業時間内であれば、資料の閲覧や購入、説明を聞くことも可能である。
4. 「PlanTreff」では、これまで都市発展に関する豊富な資料を公開し、様々なグループとの幅広いイベントの中で、ミュンヘンの将来についての議論を行い、展示会の開催を行ってきた。『ミュンヘンの展望』における広報活動は評価されており、今後も継続して行われる予定である。最終的に、情報こそが不透明さを解消し、都市発展の計画枠組みを向上させるものである。
5. 「PlanTreff」の広報活動は、モデル・プロジェクトを効果的に公表するだけではない。広報活動は幅広い民衆をターゲットに行われており、特に子供・若者を中心に全ての市民が『ミュンヘンの将来』へ関心を向けることが望ましい。関心がなければ、相互理解、受け入れ、対話、最終的な妥協に至ることは困難だからである。

都市発展問題については、インターネット等の様々なメディアを通し定期的に情報を提供するだけでは不十分である。計画していくプロジェクトについて、その背景や内部状況などの説明がなければならぬ。そこで「PlanTreff」では、市民が都市発展プロセスの策定に積極的に参加できることが目標としている。

広報活動は市民と都市プランナーとの間で対立が起こってからでは遅い。相互の信頼や合意をもたらす出資者の協力を得るためには、早い段階で確実に市民の関心を得ることが重要である。